

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【公開番号】特開 2018-14098 (P2018-14098A)

【公開日】平成 30 年 1 月 25 日 (2018.1.25)

【年通号数】公開・登録公報 2018-003

【出願番号】特願 2017-139304 (P2017-139304)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

G 0 5 B 23/02 (2006.01)

G 0 6 F 21/31 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 21/62

G 0 5 B 23/02 Z

G 0 6 F 21/31

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 20 日 (2020.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロセスプラントにおけるプラント資産へのアクセスを制御する方法であって、
1 台以上のプロセッサによって、それぞれがプロセスプラントにおける複数のプラント資産へのアクセスレベルを指定する複数のアクセス権を生成することと、
前記 1 台以上のプロセッサによって、前記複数のアクセス権を (i) 前記プロセスプラントで 1 台以上のユーザインターフェースデバイスにアクセスするように権限を有する 1 人以上のユーザ、または (i i) 前記プロセスプラント内の前記 1 つ以上のユーザインターフェースデバイスのうちの少なくとも 1 つに割り当てることと、
前記 1 台以上のプロセッサによって、前記複数のアクセス権に割り当てられた前記複数のアクセス権と前記 1 人以上のユーザまたは前記 1 つ以上のインターフェースデバイスの表示を前記プロセスプラント内の前記 1 つ以上のユーザインターフェースデバイスへ提供することを含み、
ユーザがユーザインターフェースデバイスを前記プロセスプラントの前記複数のプラント資産のうちの 1 つに接続すると、前記ユーザインターフェースデバイスは、前記ユーザまたは前記ユーザインターフェースデバイスに割り当てられた前記複数のアクセス権のうちの少なくとも 1 つに基づいて前記ユーザが前記プラント資産にアクセスすべき権限レベルを判定することを特徴とする前記方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、前記複数のアクセス権のそれぞれは、指定したアクセスレベルに対する 1 つ以上のプラント領域を含み、前記ユーザが前記ユーザインターフェースデバイスを前記プラント資産に接続すると、前記ユーザインターフェースデバイスの位置が判定され前記ユーザインターフェースデバイスが前記 1 つ以上のプラント領域内にあるかどうかを識別することを特徴とする前記方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の方法であって、前記複数のアクセス権のそれぞれは前記

指定したアクセスレベルに対する時間長を含むことを特徴とする前記方法。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の方法であって、前記ユーザが前記ユーザまたは前記ユーザインターフェースデバイスに割り当てられた前記少なくとも 1 つのアクセス権に基づいて前記プラント資産へのアクセスを有していない場合には、前記ユーザインターフェースデバイスは前記プラント資産との通信を防止し、前記方法はさらに、前記 1 台以上のプロセッサで、権限のないユーザが前記プロセスプラントの特定のプラント資産にアクセスしようと試みたことを示す通知を受信することを含む前記方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の方法であって、さらに
前記 1 台以上のプロセッサによって、アクセスレベルを前記特定のプラント資産に対して指定する前記複数のアクセス権のうちの少なくとも 1 つを前記権限のないユーザに割り当てることと、
前記 1 台以上のプロセッサによって、前記少なくとも 1 つのアクセス権前記 1 台以上のユーザインターフェースデバイスを割り当てられた前記 1 人以上のユーザの更新表示を前記特定のプラント資産へのアクセスを前記権限のないユーザに提供することを含む前記方法。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載の方法であって、前記プロセスプラント内において前記複数のアクセス権を前記 1 台以上のユーザインターフェースデバイスに提供することは、
前記ユーザインターフェースデバイスから前記 1 台以上のプロセッサにおいて、前記ユーザの識別子と、前記ユーザインターフェースデバイスの識別子と、前記ユーザインターフェースデバイスに接続された前記プラント資産の識別子を受取ることと、
前記 1 台以上のプロセッサによって、前記ユーザと、前記ユーザインターフェースデバイスと、前記ユーザインターフェースデバイスに接続された前記プラント資産とに対応する前記複数のアクセス権のサブセットをそれぞれの識別子を使って判定することと、
前記 1 台以上のプロセッサによって、前記ユーザインターフェースデバイスにアクセス権の前記サブセットを提供することを含む前記方法。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の方法であって、さらに、
前記 1 台以上のプロセッサで、それぞれが共通の属性を共有する前記プロセスプラント内にユーザのセットを含む複数のセキュリティグループを生成することと、
前記複数のセキュリティグループのそれぞれに対し、前記 1 台以上のプロセッサで前記複数のアクセス権のうちの少なくとも 1 つを前記セキュリティグループに割り当てることとを含む前記方法。

【請求項 8】

プロセスプラントでプラント資産へアクセスを制御するサーバ装置であって、サーバ装置は、

1 台以上のプロセッサと、

前記 1 つ以上のプロセッサに接続され、指示を保存する非一時的コンピュータ可読媒体と、を備え、

前記指示は、前記 1 台以上のプロセッサによって実行されることにより、前記サーバ装置が

請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載のステップを実行するように構成されるサーバ装置。